

便秘や痔でお悩みの方へ



当院では2022年10月から

「**排便機能(便秘)専門外来**」・「**肛門疾患専門外来**」を開設しています。

【排便機能(便秘)】

昔から快適な日々を送るための健康人の基本的条件として、快食、快眠ならびに快便の三原則が必須とされています。

しかし、最近便秘の方が増えています。便秘は病気ではないと思われがちですが、いくつかの研究では便秘の人はそうでない人に比べ、生存率が低いことが示されています。



【肛門疾患(痔疾)】



痔には「出血」、「痛み」、「脱出」などの症状があり、成人の3人に1人が悩んでいるといわれていますが、受診を踏みとどまる方が多いようです。しかし、直腸がんや肛門がんでも似た症状が多いので注意が必要です。

痔核は、排便コントロールや生活習慣の改善、座薬や軟膏などで治療することが多いです。手術が必要となる場合でも、痔核切除術以外にもジオン注硬化療法(切らずに治す痔の治療)も行っています。

“整腸剤や便秘薬を使っても便秘がなかなか治らない”、“痔疾軟膏を塗っても肛門が痛い、出血するという”場合は大腸がんなど他の病気が潜んでいる場合があります。

自己判断で市販の便秘薬を飲み続けていること、痔疾軟膏を用い続けていることは危険な場合がありますので、当院の「**排便機能(便秘)・肛門疾患専門外来**」を受診することをお勧めします。

詳しくは、お近くの職員にお尋ねください。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院